



しおかぜ



入会者募集

新年度がスタートしました。今後、「春の入会者募集月間」とし、「インスタグラム」・「フェイスブック」・「ユーチューブ」等のSNS



2026.04.26 塩竈市民まつりで(湾ダブルしおがま海浜公園)

塩竈市民まつり

や「ホームページ」、色んな手段でアピールしてゆきたいと思えます。いくらアピールし、見学者や体験者が増えようとも通常の稽古で指導者や拳士が少ない状態では、入会者の増加に繋がりません。助手助教の皆さんの協力が、不可欠です。幹部のより一層のご協力をお願い致します。

先月26日(日)、「塩竈市民まつり」が、湾ダブルしおがま海浜公園(北浜緑地公園)を会場に盛大に開催されました。少林寺拳法の演武披露も皆さんのご協力により無事出演することが出来ました。

来年の市民祭にも出演申し込みをしたいと思いますので、宜しくお願い致します。また、ご期待下さい。

大澤隆管長 縁起

開祖の思いを今に活かす

5月になりました。新年度が始まって一か月が過ぎ、新しい環境や役割にも少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。一方で、ほつと一息つくこの時期だからこそ、知らず知らずのうちに身心の疲れが表れたり、思うように物事が進まなかったり、人間関係

に悩むこともあるかもしれません。

そのような時こそ、私たちは原点に立ち返ることが大切です。5月12日は開祖宗道臣先生の命日であり、全国各地の道院では開祖忌法要が営まれます。開祖の遺徳を偲ぶとともに、少林寺拳法が何のために創始され、私たちが何を受け継いでいるのかをあらためて見つめ直す機会です。

開祖は、「半ばは自己の幸せを 半ばは他人の幸せを」「人、人、人、すべては人の質にある」と説かれました。自分自身を高める



塩竈市民まつりで

今後の予定

- ◎5月10日(日) 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎5月17日(日) 仙台市大会(青葉体育館)
- ◎5月24日(日) 特別稽古・開祖忌法要(塩竈道院専有道場)
- ◎6月28日(日) 特別稽古(塩竈道院専有道場)

ことと、人の幸せのために尽くすことは、決して別々のものではありません。日々の修行によつて自らを整え、その力を周囲の人々のために役立てていくところに、金剛禅の歩む道があります。時代が移り変わり、社会の姿や暮らし方が変わったとしても、開祖の教えは人が人としてより良く生きるための不変の真理であり、今なお私たちを照らす道しるべです。

開祖を直接知らない世代が増えてきました。しかし、その教えと願いは今も変わることもなく生き続けています。人とのつながりの大切さや、自らを確立しながら他者として



もに幸せを築いていく生き方は、現代を生きる私たちにとつても必要なものです。年に一度でも、教範や法話に触れ、開祖の思いを学び、自分は周囲の幸せのために何ができるかを問い直してみてください。

若葉の緑がいよいよ深まる季節です。どうか健康に留意され、開祖の思いを今の社会の中で実践しながら、今月も共に修行に励み、金剛禅運動に邁進してまいりましょう。

中国古典 紹介

人は流水に鑑みるなくして止水に鑑みる

『莊子』

流れる水はいつもざわついているので人の姿を映し出すことができない。これに対し、静止した水(止水)はいつも澄みきつているので、あるがままに人の姿を映し出す。人間も、静止した水と同じように、静かな澄みきつた心境でいえば、いついかなる事態になつてもあわてることなく、誤りのない判断を下すことができるのだという。ここから、澄み切つた心境を形容する「明鏡止水」ということばが生まれた。

これはまた「無心の境地」と言つてよいかもしれない。なにごとでも、雑念や欲望が心につまつていたのでは、それに足をすくわれてしまう。既成観念をいつぱいつめ込んで

いたのでは、それにとらわれて流動する情勢への対応を誤ってしまう。勝負でも、勝とうとする気持が先に立てば、体がコチコチになつて、ふだんの実力を発揮することができない。

対応を誤らないためには、「明鏡止水」の心境になれるかどうか一つのポイントになる。



土曜日の稽古での法話(塩竈道院)